

平成29年2月20日現在

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102	循環器		小 野 史 朗 (循環器内科)		小 野 史 朗 (循環器内科)	國 近 英 樹 (循環器内科)
		塩 見 浩太郎 (循環器内科)	國 近 英 樹 (循環器内科)		塩 見 浩太郎 (循環器内科)	
		加 藤 孝 佳 (循環器内科)	赤 川 英 三 (循環器内科)		赤 川 英 三 (循環器内科)	加 藤 孝 佳 (循環器内科)
	腎 臓	安 藤 亮太郎 (腎臓内科)	今 井 剛 (腎臓内科)	渋谷 正 樹 (循環器・腎臓内科)	今 井 剛 (腎臓内科)	渋谷 正 樹 (循環器・腎臓内科)
	糖尿病・ 血 液	藤 田 直 紀 (糖尿病・血液内科)	村 木 和 彦 (糖尿病・血液内科)		村 木 和 彦 (糖尿病・血液内科)	藤 田 直 紀 (糖尿病・血液内科)
	消化器	原 田 稔 也 (消化器内科)	石 垣 賀 子 (消化器内科・胆膵)	花 田 浩 (肝臓内科)	* 輪 番 制	白 石 龍 (消化器内科)
	呼吸器		* 非常勤医師 (午前9時30分～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午前9時～午後0時)	* 非常勤医師 (午後2時～)
【専門外来】 ○神経内科 毎週水曜日 * 古賀 道明医師の診察となります。 * 輪番制…4名の消化器医師が交替で診療を行います。						
外科 083-901-6107	1 診	小 林 俊 郎 (心臓血管外科)	高 橋 剛 (消化器・乳腺外科)	郷 良 秀 典 (心臓血管・呼吸器外科)	神 保 充 孝 (呼吸器外科)	高 橋 剛 (消化器・乳腺外科)
	2 診	斎 藤 聰 (血管外科)		佐 藤 正 史 (心臓血管・呼吸器外科)		
	【専門外来】 ○乳 腺 外 来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤 聰 医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1 診	城 甲 啓 治	大 場 一 生	城 甲 啓 治	大 場 一 生	伊 藤 英 昭
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1 診	竹 野 研 二	* 非常勤医師	竹 野 研 二	竹 野 研 二	竹 野 研 二
	○竹野医師 午前9時～ 診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始 非常勤医師による診察となります。					
脳神経外科 083-901-6109	1 診	湧 田 幸 雄	北 原 哲 博	* 完 全 予 約 制 湧 田 幸 雄	北 川 雄 大	北 原 哲 博
	2 診	* 非常勤医師				
	○北原医師・北川医師 【受付時間】午前8時30分～10時 ○2 診 機能神経外科 第1月曜日 完全予約制 非常勤医師による診察となります。					
整形外科 083-901-6108 ※完全紹介制	初診	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	三 原 修 三 (肩関節・外傷)	井 上 裕 文 (脊椎・外傷)	*完全紹介予約制 岸 本 哲 朗 (脊椎・人工関節)	大 野 晃 靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸 本 哲 朗	大 野 晃 靖	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	井 上 裕 文	三 原 修 三
	○大中医師 水曜日は午前のみ					
産婦人科 083-901-6122	1 診	古 谷 信 三	* 非常勤医師	古 谷 信 三	古 谷 信 三	古 谷 信 三
	○木曜日は手術日のため午前のための診察となります。					
眼 科 083-901-6123 ※完全紹介予約制	1 診	休 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師	休 診
皮 膚 科 083-901-6110 ※完全紹介制	1 診	休 診	休 診	* 非常勤医師	休 診	休 診
	○毎週水曜日 午前9時～午前11時 非常勤医師の診察となります。					
小 児 科 083-901-6106	1 診	* 非常勤医師	休 診	休 診	休 診	* 非常勤医師
	【乳児健診・予防接種】月曜日・金曜日 午前10時～午前11時					

医療機関の先生方へ

放 射 線 科	放射線科の診療は完全予約制となっております。		CT・MR・RIは直接ご予約できます。	
	放射線科検査についてのご相談は 放射線科 中村 洋 医師まで 083-901-6551		CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 〔月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時〕 RI予約 083-901-6154 〔※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。〕	
栄 養 科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時） TEL 083-901-6177			

地域連携室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。	《用語の解説》
	予約受付（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時） TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子	☆完全予約制…事前に予約をお取り頂くことが必要な外来 ☆完全紹介制…医療機関からの紹介（紹介状の持参）が必要な外来 ☆完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

 「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

- 各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
急患の場合はこの限りではありません。
- 都合により代診・休診とさせていただく場合があります
のでご了承ください。

Life*
No. 102

済生会山口総合病院広報誌 平成29年3月10日発行

〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表)
FAX083-921-0714

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

地域医療支援病院/日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部



山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チム

発行責任者：院長 城 甲 啓 治

〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2017年 3 月号

■ 皮膚・排泄ケア認定看護師とは

創傷・オストミー・失禁の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことです。英語表記では、対象領域がわかるように次の言葉で表します。

Certified Nurse in Wound, Ostomy and Continence Nursing
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

Wound (創傷ケア)

健康な皮膚を維持するためのスキンケアを通して、皮膚のトラブルや傷が来ないように看護します。また創傷がある方に対してスキンケアの実施や創傷が治りやすい環境を整え、創傷の治癒促進をはかります。

■ 創傷ケアでは、
主にこんなことをします。

- ・床ずれ（褥瘡）がでやすい患者さんに対してその予防方法について計画立案します。
- ・褥瘡などの傷が治りやすい療養環境を整えるために、寝具の選択、医師と共に適切な治療材料の選択、良好な栄養状態の保持などのアドバイスをします。
- ・高齢者などの傷つきやすい皮膚や傷の周囲のスキンケア方法等のアドバイスをします。

Ostomy (ストーマケア)

※ストーマ…人工肛門・人工膀胱

ストーマをもつ方、これから手術を受けられる方に対して、ストーマとストーマ周囲皮膚などの管理、ストーマ装具の選択、日常生活へのアドバイス、精神的なサポートなどを行います。

■ ストーマケアでは、
主にこんなことをします。

- ・手術前にストーマについて説明します。
- ・術後にストーマ保有者の日常生活の方法について説明し退院を支援します。
- ・ストーマ保有者に適したストーマ装具やケア方法の選択をします。
- ・ストーマ外来でストーマ周囲皮膚の定期的な観察やトラブル時のケア方法の指導をします。
- ・ストーマ外来などで日常生活の相談をうけます。

Continence

(コンチネンスケア)

便・尿失禁に伴う機能の改善を促すケアです。特に病気や手術後に発生する失禁に対する排泄管理、失禁による皮膚のかぶれなどの改善と予防を行います。

■ 失禁ケアでは、
主にこんなことをします。

- ・尿失禁や便失禁をしている方に対して、適切な失禁装具を選択し日常生活をアドバイスします。
- ・便や尿失禁による皮膚のトラブルがある方にたいして、皮膚のケア方法をアドバイスします。
- ・骨盤底筋体操の指導を行い、正しい方法で、毎日続けられるようにサポートします。
- ・失禁を悪化させる肥満・便秘の改善に関する生活指導を行います。

(日本創傷・オストミー・失禁管理学会ホームページより抜粋)

スキンケアの問題は、知識と技術で予防できることがたくさんあります。
私たちは皮膚と排泄のことが専門ですが、傷や体の一部だけを見るのではなく、その人がどんな人で、どんな生活をしているか等、様々な観点から、この患者さんにはこういうケアが必要なのだと考えるようにしています。



理 念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

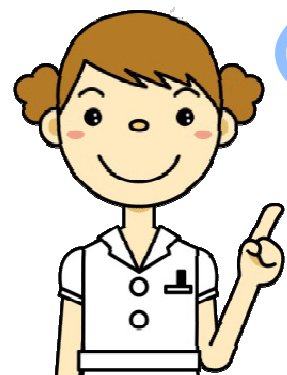
1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること

医療費に関する
ご相談をお受けしています

当院では、社会福祉法にもとづき、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

ご相談
窓口

医療社会事業室
TEL 083-901-6268(直通)



ご相談下さい

Second Opinion

セカンドオピニオン外来

地域連携室 師長 河嶋 裕子

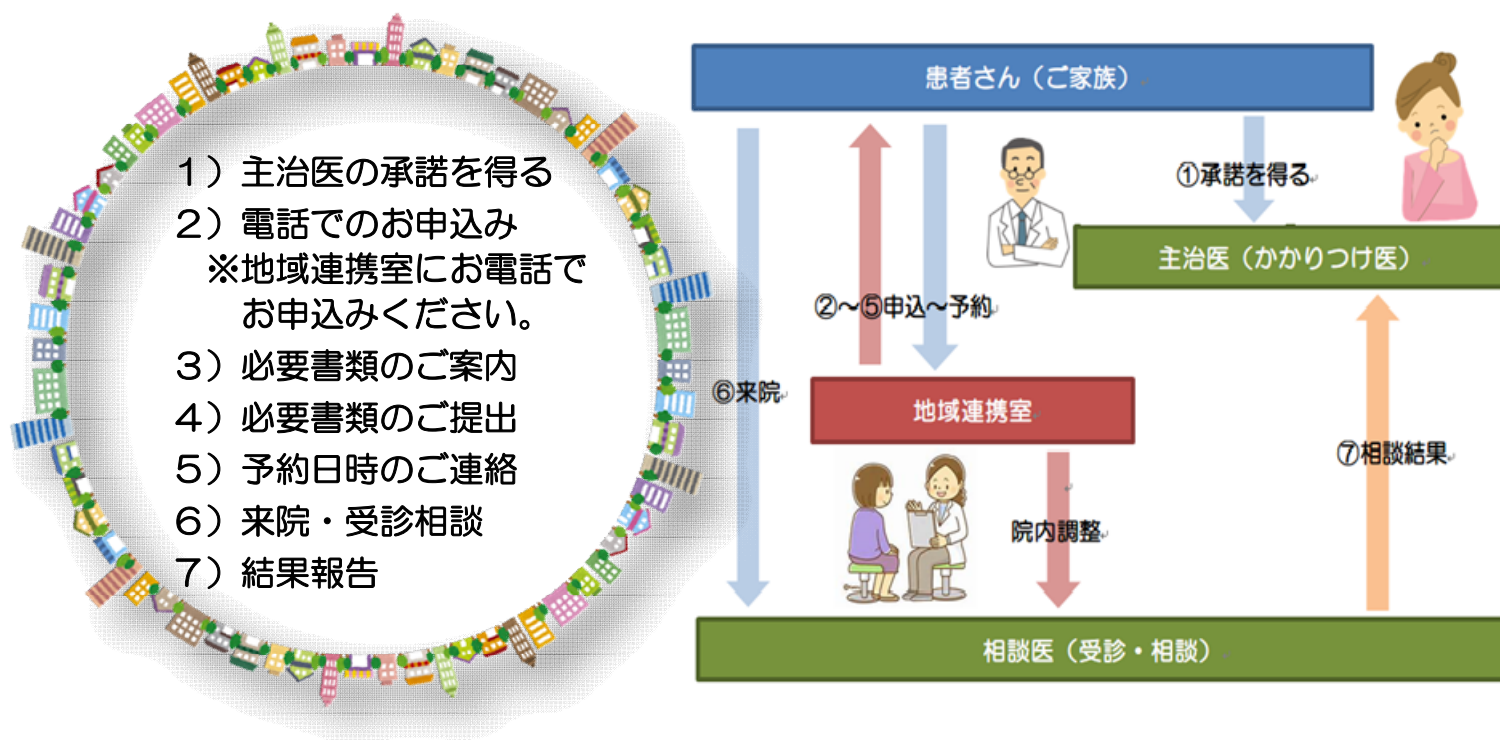


セカンドオピニオンとは、患者さんの病気に関する診断や治療法・治療方針について、より理解を深めるために、診療を受けている医療機関以外の専門医に意見や助言を求め情報を集めることです。

セカンドオピニオンを受けることにより、現在説明されている診断や治療法に対し、さらには他の治療法についての十分な診療情報を得たうえで治療方針を決定することを目的としています。

対象となる方は原則ご本人または、ご家族です。また、保険診療ではなく自費診療になります。

相談の流れ



セカンドオピニオン外来は、完全予約制です。相談医はお申込み内容をもとに専門性を考慮して選定します。

「相談の流れ」をご覧ください、お気軽にお問合せ・お申込みください。

お問合せ・申し込みは

電話 083-901-6187 済生会山口総合病院 地域連携室

詳しくは、当院ホームページ「外来診療表(セカンドオピニオン外来)」をご覧ください。ご予約・ご相談は無料です、どうぞご相談ください。

知って得する

知っ得情報!!

薬剤部より

くすりの誤嚥をふせぎましょう!

横になった状態でくすりを飲むと、のどや食道にくすりがとまってしまい、そこで溶け出してしまうことがあります。

くすりが気管に入りやすくなり、むせたり、誤嚥性肺炎を招く心配もありますので、必ず上半身を起こした状態で飲むようにしましょう。

また、高齢者は、だ液の分泌量が減っているため、くすりを飲みにくく感じる人が多いです。くすりを飲む前に水や白湯を飲ませたり、とろみをつける添加剤や嚥下補助ゼリーなどを使う方法があります。



誤嚥性肺炎とは?

食べ物や飲みものを飲み込む動作を「嚥下(えんげ)」、この動作が正しく働かないことを「嚥下障害」といいます。食べ物や飲み物、胃液などが誤って気管や気管支内にはいることを「誤嚥(ごえん)」といいます。

誤嚥性肺炎は、細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで生じる肺炎です。高齢者の肺炎の70%以上が誤嚥に関係していると言われています。

出典：大日本住友製薬健康情報サイト、日本呼吸器学会

職場紹介コーナー

小児科外来



小児科では主に乳児健診、各種予防接種、一般診療を行っております。乳児健診、予防接種においては事前の予約が必要となります。また、一般診療を行っておりますが、入院治療が必要な場合は、他施設へ紹介をしております。受診の際は必ず母子手帳を持参してください。受付時間は月・金曜日の8:30～11:00(予約時間も同様)となっておりますので、よろしくお願いいたします。



健康講座

テーマ 医療保険・介護保険について知っておこう!

～突然の病気! 突然の介護! で、あわてないために～

地域の皆さまに、より健康な生活を送っていただけるように毎月1回健康講座を開催しております。参加無料です。お気軽にご参加ください。

日時：平成29年4月20日(木) 午後3時～午後4時

場所：済生会山口総合病院 4階大会議室

講師：地域連携室師長 河嶋 裕子 / 医事課長 門田 典三

敷地内全面禁煙のお知らせ

平成27年8月1日より、喫煙・受動喫煙による健康被害を防ぐために病院敷地内全面禁煙(建物内・駐車場及び車内を含む)を実施しております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。